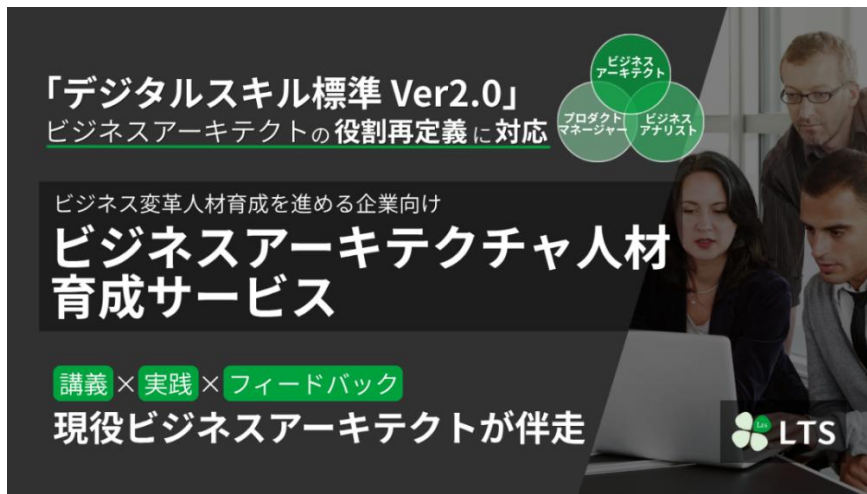


報道関係者各位
プレスリリース

2026年4月20日
株式会社エル・ティー・エス

「デジタルスキル標準 Ver2.0」に対応、LTS「ビジネスアーキテクチャ人材育成サービス」を提供開始
～業界トップクラスの支援実績・ノウハウを活かした、DX・変革推進の専門家を育成～

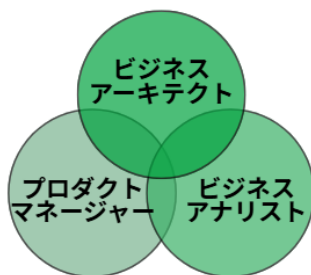
株式会社エル・ティー・エス（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員：樺島 弘明、以下 LTS）は、DX・変革推進の基盤醸成におけるコンサルティング支援の一つとして「[ビジネスアーキテクチャ人材育成サービス](#)」の提供を開始しました。本サービスは、企業の DX・ビジネス変革推進を担う人材の基礎および実行能力を養う実践型の伴走育成支援です。2026年4月に改訂された「デジタルスキル標準 Ver2.0」（経済産業省と IPA(※1)が策定した DX 推進に必要な人材とスキルを定義した標準指標。以下 DSS Ver2.0）で再定義されたビジネスアーキテクチャ人材類型に対応した研修・伴走型育成支援を提供します。



■最新指標に対応した伴走育成

経済産業省などが設置した「ビジネスアーキテクチャ人材の育成に関するタスクフォース（LTS 常務執行役員 CSO 山本政樹が主査を務める）」でビジネスアーキテクチャの役割が再定義され（[参考](#)）、DSS Ver2.0 では3つの役割に分類されました。（画像1）

役割の主な軸：「変革の階層」と「決定権・裁量権の有無」



ビジネスアーキテクト	戦略に基づいたアーキテクチャの全体設計を行い、施策のポートフォリオを構成する。 ただし、決定権はあくまでも経営に帰属する。
ビジネスアナリスト	基本的に最終決定権や裁量権を持たず、実行責任が中心。 また関与する取り組みも流動的なことが多く、変革支援要員としてもっとも柔軟に配置できる。
プロダクトマネージャー	任命されたプロダクト/プログラムに対する決定権/裁量権を持つ。 必然的に責任範囲は明確で、変革のマネジメント責任も負う。

3つの役割は大きく見れば同じ役割であるため、必然的に保有するスキルやマインドセットには重複する部分がある。一方で、関与する変革マネジメント階層や、変革における決定権・裁量権の持ち方によってその振る舞いは異なる。

画像1：ビジネスアーキテクチャ人材類型を構成するロール（[DSS Ver2.0](#)を基に整理）



特にビジネスアナリスト・ビジネスアーキテクトは、企業や組織の大規模変革に必要である多くのステークホルダーの調整役となるため、対人折衝などのソフトスキルが非常に重要です。これは座学だけで育成することはできません。知識は勉強で身に付けられますが、スキルや思考力は訓練、マインドや振る舞いは経験でしか身に付けられないからです。

LTS は 10 年以上にわたって、ビジネスアナリシス・ビジネスアーキテクチャ領域を中心に国内外の動向を追っており、本領域で活躍する人材をコンサルタントとして多数輩出してきました。本サービスでは実際に現場で活躍しているビジネスアーキテクト・ビジネスアナリストが、これまでに蓄積した育成ノウハウ・実績により裏付けられた知見をもって、実践的な伴走育成およびフィードバックを行い、現場で実際に活躍できる人材を育成します。

■サービスメニュー概要

段階的な育成プログラムを通じて着実に実行力を養います。さらに、組織のフェーズ・期待値、また、学習者の立場・役割・成熟度等を鑑みて、各社の状況に合わせて支援内容をご提案します。人材の定着には組織の変化が、成果創出には継続的な取り組みが欠かせないため、中長期的な育成・組織基盤の醸成に伴走することも見据えた支援アプローチとなっています。詳細は[サービスページ](#)をご覧ください。

LTS は、ビジネスアーキテクチャ人材の育成において日本を代表するリーディングカンパニーです。早くからビジネスアナリストやビジネスアーキテクト、BPM といった変革基盤の重要性に着目し、クライアント企業に伴走型コンサルティングを提供してまいりました。今後も強みとする企業変革・DX 領域の知見とビジネス変革人材・ビジネスアーキテクチャ人材育成のノウハウを活かし、組織基盤の醸成および専門人材の育成を支援します。

■参考

※1 IPA：経済産業省所管の独立行政法人 情報処理推進機構（Information-technology Promotion Agency, Japan）。日本の IT 人材育成、情報セキュリティ対策、技術調査を行う公的機関。

○関連プレスリリース：ビジネスアーキテクチャ人材の育成促進取り組み

- ・ [国内大手 7 社のデジタル変革人材リーダーが議論、ビジネスアーキテクト勉強会を開催しました（LTS 主催）～アドバンテスト・大林組・オリックス銀行・中外製薬・東京ガス・トヨタ自動車・リコーが参加～](#)
- ・ [国内大手 9 社が企業変革に向けて議論、第 2 回ビジネスアーキテクト勉強会を開催しました（LTS 主催）～石原産業、オムロングループ（2 社）、関西エアポート、シスメックス、SCREEN ビジネスエキスパート、住友ゴム工業、第一稀元素化学工業、MonotaRO が参加～](#)

○関連ページ

- ・ ビジネスアーキテクト解説動画（視聴登録）：[日本のビジネス変革人材の“これまで”と“これから”～日本と世界の比較から～](#)
- ・ 人材定着・組織化テーマの講演：[DX が進まない本当の理由——日本企業に「変革人材」を根づかせる組織と文化の設計図](#)

○LTS 変革の重要テーマ

- ・ ビジネスアーキテクト：変革人材育成 <https://lt-s.jp/service/theme/ba>
- ・ ビジネスプロセスマネジメント（BPM） <https://lt-s.jp/service/theme/bpm>

【株式会社エル・ティー・エスについて】東京証券取引所 プライム市場（6560） URL：<https://lt-s.jp/>

株式会社エル・ティー・エスは、クライアントのビジネスアジリティ／変革実行能力を高める伴走型コンサルティングを主軸とした総合サービスを提供しています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】LTS 広報担当 E-Mail：info@lt-s.jp